

医療法人 原会グループ

介護・福祉の現場から

特別養護老人ホーム「シルクの里」(桐生市)は、ユニット型個室60床で構成される2階建ての施設。建物中央をガラス窓の吹き抜けが貫き、通路を明るく照らす。照明器具や壁紙など細部にもこだわりが行き届いた、おしゃれな居住空間が特長だ。医療法人原会(伊勢崎市)が桐生市で施設を運営するのは初めて。施設長の菅沼智一さん(51)は「地域に根差した施設にしたい」と意気込んでいる。

特別養護老人ホーム「シルクの里」

施設長 菅沼 智一さん

シルクの里の1ユニットは、共同生活室を中心に10床が並ぶ。2階に4ユニット、1階に2ユニットあり、

他業種から転職

「元氣?」。昨年9月から介護士や看護師ら35人ほどの職員が入居者の生活スタイルに応じた援助を行う。要介護レベルに合わせた3職員に声をかける。私自身

種類の浴室や、理美容室も完備している。



入居者と談笑する菅沼さん(中央)

地域に根差した施設に

は現場で働いているわけではないので、できるだけ接点を持ちたい。職員が気持ちよく働ければ、相乗効果でケアの質も向上する。コミュニティケーションを取ることで事務方と現場の距離をなくし、声を上げやすい環境づくりに努めている。

12年前に家電小売業界からの転職で原会に入り、これまでグループの老健、特養施設などで事務長職を務めてきた。「医療・介護業界への先入観がなかったの

で、全てが目新しく、日々勉強だった」と振り返る。

培ったグループ内のネットワークを生かし、音楽活動を行っている他施設のスタッフに声をかけ、フルートの演奏会を企画した。春には「花見に行きたい」という声を受け、大型ワゴン車の運転手を買って出た。「何度もお礼を言ってくれる。日常のケアには関われないが、自分にできることはやっていきたい」とやりがいを感じさせる。

人材育成に注力

原会にとって桐生地域は



ミーティングで職員と情報交換する菅沼さん

初進出のため、認知度向上を目標に掲げる。福祉を学ぶ高校生に実習の場を積極的に提供し、地域の人材育成に力を入れていく予定だ。また、施設内の多目的ホールは貸し出しを安価で行っており、「会議や集会など、さまざまな用途で利用してほしい」と呼びかけている。

施設運営に携わる立場から「元氣なうちに施設を見学し、家族に意思を伝えておいてほしい」と強調する。体調を崩してから自分で施設を探すのは、容易ではないからだ。「過ごしたい場を決めておくことは、快適な老後や家族の幸せにつながる。そうした期待に応えられる施設でありたい」と力を込める。

CHECK

季節を感じる行事食

「おやつレク」で交流

シルクの里では毎月、季節や行事に合わせた食事を提供している。2月の節分には、薄焼き卵で包んだ恵方巻きやイチゴあんみつなど目にも楽しい料理が食卓に並んだ。

また、利用者のリクエストに応える「おやつレクリエーション」も実施。管理栄養士の小山理香子さんが「利用者さまと職員が思い出をつくれる機会にしたい」と、お好み焼きを目の前で調理したり＝写真、桜餅を



一緒に作ったりと工夫を凝らしている。普段少食な人が「おいしい」「いくらでも食べられる」とおかわりするなど好評だ。小山さんは「8月には近くで八木節祭りがあるので、施設にいてもお祭り気分が味わえるようなおやつを考えたい」と意気込む。

医療のそばで、ずっと安心

入居者募集中!!

社会福祉法人絹乃会 特別養護老人ホーム

シルクの里

入所定員
60床

桐生市宮本町1丁目12番34号

☎0277-20-6622



医療法人 原会

〒370-0127 伊勢崎市境上武士898-1
TEL:0270-74-0633 FAX:0270-74-1988
MAIL: info@hara-hospital.jp



社会福祉法人 絹乃会

〒376-0056 桐生市宮本町1-12-34
TEL:0277-20-6622 FAX:0277-20-6611
MAIL: info@silknosato.jp